

# 環境経営レポート



**Kawasaki**

**2024年度版**

対象期間：2024年1月 ～ 2024年12月

発行日：2025年3月10日

株式会社 川崎製作所

## 1 ご挨拶

2022年度の国際的な経済情勢を見ますと、高インフレと各国での金融引き締め、ウクライナ戦争の長期化に伴うエネルギー危機などを背景に、世界的な景気後退への懸念が高まっています。このような情勢の中で川崎製作所は半導体製造装置に関わる部品を中心に食品製造装置など様々な業種業界の板金部品を手掛けてまいりました。また生産面においては、需要環境の変化に柔軟に対応すべく、社内での効率の向上を図ることができる生産体制の構築及び管理面の強化に取り組んでおります。営業面では、顧客第一のサービスに注力し、得意先様との信頼関係の更なる強化に努めるとともに、新たな市場の開拓に取り組んでおります。カーボンニュートラルへの取り組みにつきましては、頻発する風水害など気候変動が社会に及ぼす影響が甚大になる中で、気候変動問題の解決に向けて企業が果たすべき役割はより重要なものとなっており、脱炭素社会への貢献することに取り組むことを重要課題と位置付けて取り組んでおります。

弊社では、環境保全活動の取り組み、現状を皆様にご理解していただくために、「環境経営レポート 2024」を作成いたしました。このレポートが川崎製作所の取り組み姿勢をご理解いただくきっかけとなれば幸いです。

代表取締役社長 川崎 好仁

## 目 次

|                              |       |
|------------------------------|-------|
| 1 代表者ご挨拶                     | 1     |
| 2 企業理念                       | 2     |
| 3 重点施策                       | 2     |
| 4 事業内容及び製品・サービスの紹介           | 3     |
| 5 SDGs貢献活動                   | 4     |
| 6 会社概要                       | 5.6   |
| 7 環境経営の取組                    | 7     |
| 7.1 環境経営方針                   | 7     |
| 7.2 環境経営実施体制                 | 8     |
| 7.3 環境経営目標とその実績              | 9     |
| 7.4 環境経営計画の取組結果・次年度の取組内容     | 10    |
| 7.5 環境パフォーマンスの推移             | 11.12 |
| 7.6 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟などの有無 | 13    |
| 7.7 代表者による全体の評価と見直し指示        | 13    |



## 2 企業理念

### 【最高の品質こそ最大のサービス】

私たちは「良い製品、喜ばれる製品」を作る事を追求し、  
全ての人が幸せになれる社会を創造します。

## 3. 重点施策

### ■ 持続的に成長する企業

- ① 新たな販路拡大
- ② 業績の目標管理制度の改善
- ③ 間接経費の縮減

### ■ 社会に信頼される企業価値向上

- ① SDGs貢献活動の拡張
- ② ステークホルダーとの協調

### ■ 従業員が生き生きと働きがいのある企業風土づくり

- ① ダイバーシティの推進
- ② 社内コミュニケーションの活性化
- ③ 専門技術者の計画的育成・自己啓発の奨励

## 4. 事業内容及び製品・サービスの紹介

### 事業分野

半導体製造装置  
食品、製菓製造装置  
産業用機械・光学機器  
幹線ダクト  
FPD装置  
医療・鉄道インフラ  
などの精密板金・製缶板金



## 5. SDGs貢献活動

「持続可能な開発目標」(SDGs)は、2015年9月国連サミットにおいて採択された持続可能な平和な社会を実現するための世界共通目標です。SDGsは、17の目標(ゴール)と169のターゲットで構成されております。

弊社は、事業活動において脱炭素社会・資源循環社会形成を目指すと共にSDGs目標の実現に寄与するため以下の様な活動に取り組んでおります。

| 活動分野                | 事業内容                    | 実効評価指標(年間)               | 〔SDGs目標との関連〕             |    |    |    |
|---------------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|----|----|----|
| (1) 持続可能な経営基盤の強化    | ① 市場ニーズに適合した製品開発と販路拡大   | 売上高の伸長                   |                          | 8  | 9  | 11 |
|                     |                         | 2024現状                   | 2030目標                   | 8  | 9  | 12 |
|                     | ② 業績管理制度の改善と原価意識の醸成     | 利益率の維持                   |                          | 8  | 9  | 12 |
|                     |                         | 2024現状                   | 2030目標                   | 8  | 9  | 12 |
| (2) 脱炭素化活動の推進       | ① 製造における省エネルギー及び脱炭素化の促進 | CO2排出量削減                 |                          | 7  | 8  | 9  |
|                     |                         | 2024現状                   | 2030目標                   | 7  | 8  | 13 |
|                     | ② 車両等の省燃料対策促進           | kg                       |                          | 7  | 8  | 9  |
|                     |                         | 124,100 -CO <sub>2</sub> | 107,462 -CO <sub>2</sub> | 7  | 8  | 9  |
| (3) 資源の循環利用の促進      | ① 再生資源等の積極的活用           | 再生資源利用量                  |                          | 11 | 12 | 15 |
|                     |                         | 2024現状                   | 2030目標                   | 11 | 12 | 15 |
|                     | ② 原材料の有効利用と不良ロス防止の徹底    | 材料の歩留率向上                 |                          | 8  | 12 | 14 |
|                     |                         | 2024現状                   | 2030目標                   | 8  | 12 | 15 |
| (4) 働き甲斐のある労働環境づくり  | ① ダイバーシティの推進(雇用の多様化)    | 特定従業員雇用                  |                          | 4  | 5  | 8  |
|                     |                         | 2024現状                   | 2030目標                   | 4  | 5  | 10 |
|                     | ② 社内コミュニケーションの活性化       | 定例コミュニケーション              |                          | 4  | 8  | 9  |
|                     |                         | 2024現状                   | 2030目標                   | 4  | 8  | 9  |
|                     | ③ 専門技術者の計画的育成・自己啓発の奨励   | 社外研修会派遣                  |                          | 4  | 5  | 9  |
|                     |                         | 2024現状                   | 2030目標                   | 4  | 5  | 12 |
| (5) 社会から信頼される企業価値向上 | ① ステークホルダーとの円滑な情報交換と協調  | 情報交換会                    |                          | 5  | 11 | 17 |
|                     |                         | 2024現状                   | 2030目標                   | 5  | 11 | 17 |
|                     | ② 経営情報の定期的公開            | 情報公開                     |                          | 11 | 12 | 17 |
|                     |                         | 2024現状                   | 2030目標                   | 11 | 12 | 17 |

## 6 会社概要

- 社 名 株式会社 川崎製作所
- 本社所在地 神奈川県綾瀬市早川2605-34
- 代表者 代表取締役社長 川崎 好仁
- 事業活動 精密板金加工(パイプフレーム・管体加工他 板金加工全般)
- 設立年月日 昭和42年1月
- 資本金 1,000万円
- 沿革

| 年 月   | 事 柄           |
|-------|---------------|
| 1966年 | 神奈川県大和市にて創業   |
| 1974年 | 有限会社 川崎製作所 設立 |
|       | 資本金 500万円     |
| 1980年 | 神奈川県綾瀬市に移転    |
| 1985年 | 同地に工場増設       |
| 1990年 | 株式会社に改組       |
| 1995年 | 資本金1,000万円に増資 |
| 1997年 | 第二工場を隣接地に建設   |

| 年 月   | 事 柄               |
|-------|-------------------|
| 2001年 | 神奈川県優良工場表彰 受賞     |
| 2006年 | ISO9001認証取得       |
| 2010年 | エコアクション21認証取得     |
| 2022年 | かながわSDGSパートナー登録取得 |
| 2023年 | 第三工場を増設           |
|       |                   |
|       |                   |
|       |                   |

### ■ 事業所

| 事業所名 | 所在地              | 業務内容       | 認証・登録範囲 |
|------|------------------|------------|---------|
| 本社工場 | 神奈川県綾瀬市早川2605-34 | 板金加工       | 該当      |
| 第二工場 | 神奈川県綾瀬市早川2605-29 | 製缶(フレーム)加工 | 該当      |
| 第三工場 | 神奈川県綾瀬市早川2605-35 | 検査・出荷      | 該当      |

### ■ 事業の規模

| 項 目   | 単位             | 2022 年 | 2023 年 | 2024 年 | 年 | 年 |
|-------|----------------|--------|--------|--------|---|---|
| 売 上 高 | 百万円            | 400    | 369    | 344    |   |   |
| 従業員数  | 人              | 26     | 26     | 25     |   |   |
| 床面積   | m <sup>2</sup> | 1323   | 1827   | 1827   |   |   |

## ■ 施設保有状況

| 種 類  | 設備名              | 型式・容量                  | 台数 |
|------|------------------|------------------------|----|
| 生産設備 | レーザー加工機          | 三菱製(4.5k 5'x10' 対応)    | 1  |
|      | レーザー加工機          | 三菱製(4.0k 4'x8' 対応)     | 1  |
|      | CNCタレットパンチプレス    | アマダ(EM 4k 4'x8' 対応)    | 1  |
|      | 材料自動供給装置         | アマダ(MP 1224EX)         | 1  |
|      | NC装置付ベンダー 他油圧プレス | アマダ(170t・125t・50t・SPH) | 5  |
|      | シャーリング           | アマダ                    | 1  |
|      | コーナーシャー          | アマダ                    | 1  |
|      | バリ取り機            | エステーリンク製メタルエステ         | 1  |
|      | 自動タッピングマシーン      | アマダ                    | 1  |
|      | テーブル型スポット溶接機     | アマダ                    | 1  |
|      | 各種溶接機(CO2・Ar)    | 各種メーカー                 | 13 |
| 車輛等  | ダイナ              | トヨタ 2.0t車              | 1  |
|      | ダイナ              | トヨタ 1.5t車              | 1  |
|      | ハイエース            | トヨタ                    | 1  |
|      | ピクシス             | トヨタ                    | 1  |
|      | フォークリフト          | コマツ                    | 1  |

## ■ 取引金融機関

横浜信用金庫  
 商工組合中央金庫  
 静岡中央銀行

## ■ 主な取引先

半導体関連装置 各種メーカー  
 食品関連装置 各種メーカー



## 7 環境経営への取組

### 7.1 環境経営方針

#### 環 境 経 営 方 針

##### 〔 企 業 理 念 〕

##### 【最高の品質こそ最大のサービス】

私たちは「良い製品、喜ばれる製品」を作る事を追求し、全ての人が幸せになる社会を創造することを企業理念とします。

##### 〔 環 境 経 営 指 針 〕

当社は、精密板金業者としてお客様からの製作依頼に熱意を持って取組み、お客様に満足して頂くことで、社会貢献を目指している企業である。

当社が今後とも事業継続していくに当たり、下記のように環境に配慮して、環境への負荷の低減と汚染の予防を図ることで、地域環境のみならず、地球環境改善に貢献していくことを目指す。  
また取引先のグリーン調達基準に対し積極的に取り組むことで、環境負荷の低減(環境配慮製品の提供)に貢献できる体制を維持していく。

エコアクション21に基づく環境経営システムに取り組み、環境関連の法令条例等の遵守を誓約するとともに、環境経営の継続的改善を図ることを誓約する。

##### 〔環境への取組の重点分野〕

1. 二酸化炭素排出量の削減
  - ① 機械設備、照明等の効率使用による電力消費の徹底。
  - ② 配送車両ルート効率化によるガソリン使用量の低減。
2. 廃棄物排出量の削減
  - ① 廃棄物の分別によるリサイクルの推進
  - ② スクラップ他、リサイクル可能な廃棄物の分別を徹底
3. 水使用量削減
  - ① 洗浄用水道水の使用量の節水努力。
4. 化学物質量の削減(管理)
  - ① 使用可能上限数値を決めて使用量の管理を図る。
5. 環境配慮製品・技術・サービスの提供
  - ① 顧客の要求するグリーン調達基準に遵守(環境配慮製品の積極的な提供)
  - ② 環境配慮技術(端材の使用・不良品削減)の確立
  - ③ 環境配慮サービス(既存製品の追加工等)の提供をする

この環境方針は、全従業員に周知すると共に、一般にも公開します。

制定:2021年 2月 1日  
改訂:2024年 3月 1日

株式会社 川崎製作所  
代表取締役社長 川崎 好仁

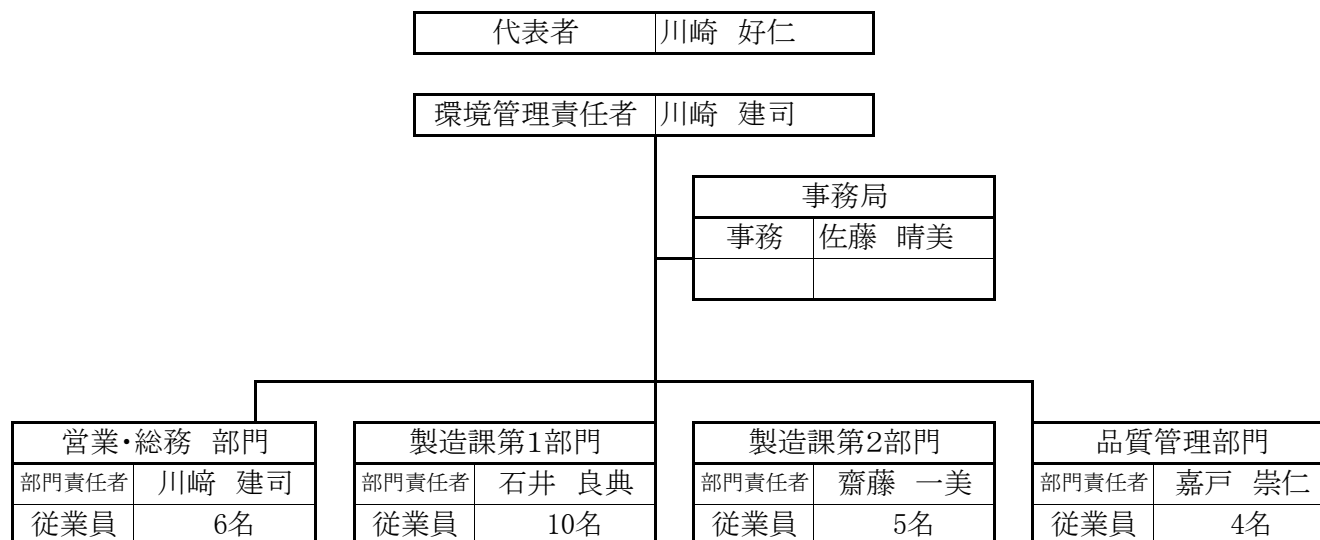


## 7.2 環境経営実施体制

### ■ 環境管理関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 所属・役職 取締役副社長 氏名 川崎 建司  
 環境業務担当者 所属・役職 取締役副社長 氏名 川崎 建司  
 連絡先 住 所 〒 252-1123 神奈川県綾瀬市早川2605-34  
 電 話 0467-77-0411 FAX: 0467-76-8445  
 電子メール kenji@kawasaki-seisaku.co.jp

### ■ 環境経営実施組織



### ■ 役割、責任及び権限

| 役職      | 役割、責任及び権限                                                                                                                                                                                    |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>・環境経営方針の制定及び社内周知</li> <li>・環境管理責任者の任命及び実施体制の承認</li> <li>・EA21全体取組状況の評価と見直し</li> <li>・環境経営に必要な資源(人・もの・資金・情報)の用意</li> </ul> |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知</li> <li>・全社組織へのEA21活動実施の統括</li> <li>・EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告</li> <li>・問題点の是正処置の統括 ・環境コミュニケーションの対応</li> </ul>         |
| 事務局     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐</li> <li>・EA21活動に関する事務</li> </ul>                                                                                                         |
| 部門責任者   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知</li> <li>・部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ</li> <li>・問題点の是正処置、予防処置の実施</li> </ul>                                       |
| 従業員     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施</li> <li>・EA21活動に関する提案</li> </ul>                                                                                        |

## 7.3 環境経営目標及びその実績

| 環境経営目標項目                          |                  |                             |              | 基準年          | 年度目標            |                |                | 2024年度<br>実績及び評価 |          |
|-----------------------------------|------------------|-----------------------------|--------------|--------------|-----------------|----------------|----------------|------------------|----------|
|                                   |                  |                             |              | 2021<br>年度実績 | 2023<br>年度      | 2024<br>年度     | 2025<br>年度     |                  |          |
| 1<br><br>二酸化炭素排出量の削減              | 〔目標値設定率〕         |                             |              |              | 基準値比<br>4 %削減   | 基準値比<br>5 %削減  | 基準値比<br>5 %削減  | 売上原単位<br>CO2実績値  | 目標<br>達成 |
|                                   | (1)電気<br>使用量の削減  | 電気                          | kwh          | 220,645      | —               | —              | —              | 199,407          | ○        |
|                                   |                  | 排出係数                        | 0.486 kg-CO2 | 107,233      | 〈売上原単位CO2排出量目標〉 |                |                | 96,912           |          |
|                                   |                  | 売上原単位CO2排出量<br>(kg-CO2/百万円) |              | 388.5        | 373.0           | 369.1          | 369.1          | 282              |          |
|                                   | (2)化石燃料使用量の削減    | ガソリン                        | ℓ            | 6,395        | —               | —              | —              | 6,206            | ○        |
|                                   |                  | 排出係数                        | 2.32 kg-CO2  | 14,836       | 〈売上原単位CO2排出量目標〉 |                |                | 14,398           |          |
|                                   |                  | 売上原単位CO2排出量                 |              | 53.8         | 51.6            | 51.1           | 51.1           | 42               |          |
|                                   |                  | 軽油                          | ℓ            | 1,599        | —               | —              | —              | 888              | ○        |
|                                   |                  | 排出係数                        | 2.58 kg-CO2  | 4,125        | 〈売上原単位CO2排出量目標〉 |                |                | 2,291            |          |
|                                   |                  | 売上原単位CO2排出量                 |              | 14.9         | 14.3            | 14.2           | 14.2           | 7                |          |
|                                   |                  | 都市ガス                        | Nm³          | 321          | —               | —              | —              | 222              | ○        |
|                                   |                  | 排出係数                        | 2.16 kg-CO2  | 693          | 〈売上原単位CO2排出量目標〉 |                |                | 480              |          |
|                                   |                  | 売上原単位CO2排出量                 |              | 2.5          | 2.4             | 2.4            | 2.4            | 1                |          |
|                                   |                  | 灯油                          | Nm³          | 1,556        | —               | —              | —              | 4,024            | ×        |
|                                   |                  | 排出係数                        | 2.49 kg-CO2  | 3,874        | 〈売上原単位CO2排出量目標〉 |                |                | 10,020           |          |
|                                   |                  | 売上原単位CO2排出量                 |              | 14.0         | 13.5            | 13.3           | 13.3           | 29               |          |
|                                   | 二酸化炭素排出量計        |                             | kg-CO2       | 130,763      | 125,532         | —              | —              | 124,100          | ○        |
|                                   | 売上高原単位指数         |                             |              | 276          | 〈売上原単位CO2排出量目標〉 |                |                | 450              | ○        |
|                                   | CO2排出量計／原単位指標    |                             |              | 473.8        | 454.8           | 450.1          | 450.1          | 360.8            |          |
| 2.<br>廃棄物排出量の削減                   | 〔目標値設定率〕         |                             |              |              | 基準値比<br>3 %削減   | 基準値比<br>3 %削減  | 基準値比<br>3 %削減  | 2023年度<br>実績値    | 目標<br>達成 |
|                                   | 廃棄物<br>削減        | 一般廃棄物                       | 袋            | 150          | 146             | 146            | 146            | 240              | ×        |
|                                   |                  | 産業廃棄物                       | kg           | 2,530        | 2,454           | 2,454          | 2,454          | 1,129            |          |
|                                   |                  | リサイクル資源                     | kg           | 64,210       | 62,284          | 62,284         | 62,284         | 52,300           |          |
|                                   |                  | 計                           | kg           | 66,740       | 64,738          | 64,738         | 64,738         | 53,429           |          |
|                                   | リサイク<br>ル率向<br>上 |                             |              |              | 基準値比<br>1 Pアップ  | 基準値比<br>1 Pアップ | 基準値比<br>1 Pアップ |                  | ○        |
|                                   |                  | リサイクル率                      | %            | 96.0         | 96.0            | 96.0           | 96.0           | 98               |          |
| 3.<br>水使用量の削減                     | 〔目標値設定率〕         |                             |              |              | 基準値比<br>1 %削減   | 基準値比<br>3 %削減  | 基準値比<br>3 %削減  | 2023年度<br>実績値    | 目標<br>達成 |
|                                   | 水使用量             |                             | m³           | 585          | 579             | 567            | 567            | 506.5            | ○        |
|                                   | 使用料金             |                             | ¥            |              | —               | —              | —              |                  |          |
| 4.<br>化学物質<br>使用量の管理              | トルエン             | kg                          | 79           | 使用量<br>の把握   | 使用量<br>の把握      | 使用量<br>の把握     | 61.46          | ○                |          |
|                                   | キシレン             | kg                          | 25           |              |                 |                | 20             |                  |          |
|                                   | 計                | kg                          | 104          |              |                 |                | 81.46          |                  |          |
| 5.<br>製品の環境<br>性能の向上<br>及びサービスの改善 | 〔目標値設定率〕         |                             |              | 2024年度より目標設定 | 基準値比<br>%減少     | 基準値比<br>%減少    | 基準値比<br>%減少    | 2024年度<br>実績値    | 目標<br>達成 |
|                                   | 年間不良件数の削減        |                             | 件            | 116          |                 | 116.0          | 99.0           | 119              | ×        |

## 7.4 環境経営計画の取組結果・次年度の取組内容

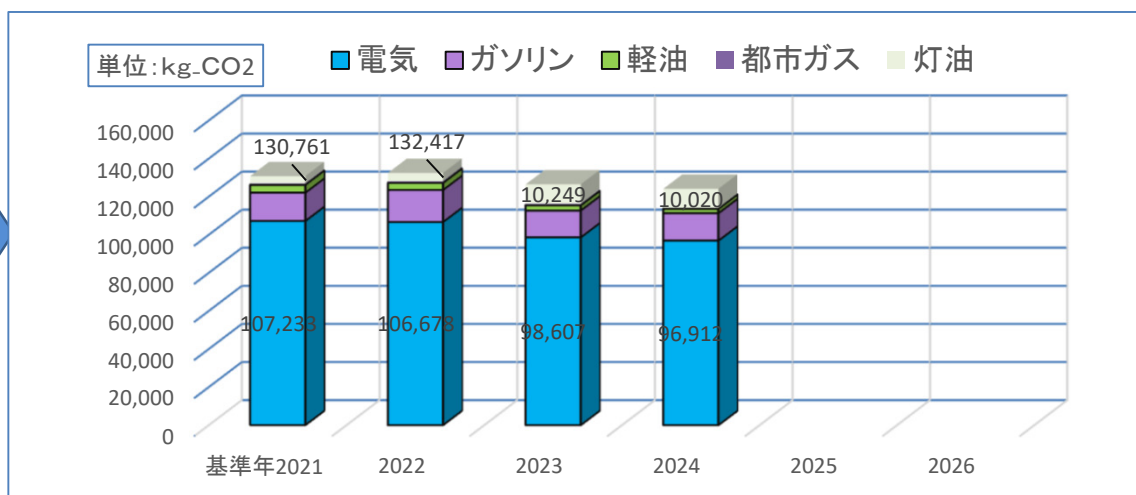
〔評価基準〕 ○：良くてきた △：ある程度できた ×：出来なかった

| 環境目標項目                |             | 具体的取組内容                                    | 推進責任者                 | 取組結果と評価<br>(○△×)                                                                   |      | 次年度の取組内容<br>(新規取組など)           |
|-----------------------|-------------|--------------------------------------------|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------|
| 1<br>二酸化炭素排出量削減       | 電気使用量の削減    | ・機械設備の効率使用<br>・工場内の照明機器の効率使用<br>・事務所内の電力節減 | 社長<br>石井              | ・設備の不使用时の電源OFFが徹底されており、効率的に節電                                                      | 評価 ○ | ・新電力の購入等可能性を模索                 |
|                       | 化石燃料使用量の削減  | ・配送ルートの効率化<br>・冬場の暖房設備の効率化                 | 石井<br>齋藤<br>嘉戸        | ・ガソリン、軽油、ガスなどの使用は効率的に使われているが、第三工場の防寒対策が出来ておらず、灯油の使用量が大幅に増加してしまった。12月にパーテンション設置し対策。 | 評価 △ | ・パーテンション設置による効果が今後期待できる。       |
| 2<br>廃棄物排出量削減         | 一般廃棄物の削減    | ・資源の徹底分別<br>・収集袋の節約<br>・紙の裏面の積極使用          | 副社長<br>石井<br>齋藤<br>嘉戸 | ・梱包材、保護ビニール等のごみが例年より多く、一般廃棄物の増加になってしまった                                            | 評価 × | ・梱包材の再利用、収集袋の効率使用に心がける         |
|                       | 産業廃棄物の削減    | ・産廃ボックスへの投入時の分別再確認                         | 社長<br>石井<br>齋藤<br>嘉戸  | ・分別を徹底している効果がでており、年間で発生していた金属くずの総量が減少                                              | 評価 ○ | ・金属くず、混合廃棄物の処理を可能な限り分別する       |
|                       | 資源リサイクル率の向上 | ・金属スクラップの分別廃棄                              | 石井<br>齋藤              | ・鉄、ステンレス、アルミ、銅の分別が出来ており、効率的にスクラップ業者に売却できている                                        | 評価 ○ | ・端材の効率使用により、スクラップの量自体を減少させていく  |
| 3.水使用量の削減             |             | ・製品洗浄時の水使用量の低減<br>・レーザー設備の水循環を必要最小限に抑える    | 松崎<br>中島<br>嘉戸        | ・クーリングタワーの水漏れを毎朝チェックしており、漏水を早期に発見<br>・大きな製品の洗浄を極力外注化                               | 評価 ○ | ・継続して、節水、漏水の有無の確認を行う           |
| 4.化学物質使用量の管理          |             | ・定められた量の厳守(シンナー)<br>・パーツクリーナーの使用           | 嘉戸                    | ・月の定量厳守を維持できており使用を抑えられている。                                                         | 評価 ○ | ・シンナーに変わる脱脂洗浄剤を検討              |
| 5.製品の環境性能の向上及びサービスの改善 |             | ・年間発生する不良発生の低減(目標範囲内に抑える)<br>・端材の積極利用      | 社長<br>石井<br>齋藤<br>嘉戸  | ・部門別における、傾向と対策を分析し、対策を実地。前半は多く発生していた不良件数を後半には減少させることが出来ている。                        | 評価 × | ・結果報告を毎月朝礼で報告。作業員個々に意識付けを図っていく |

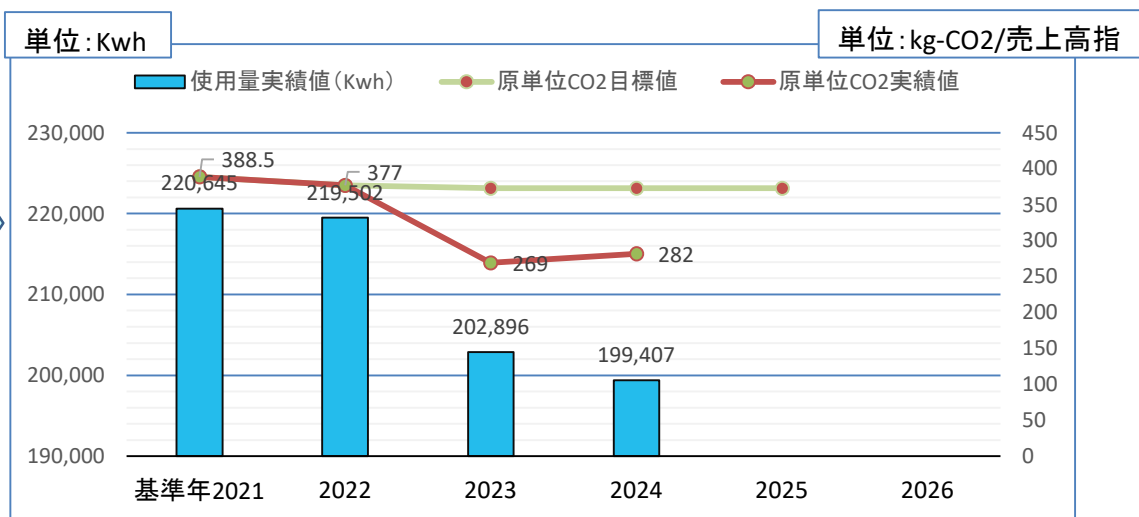


## 7.5 環境パフォーマンスの推移

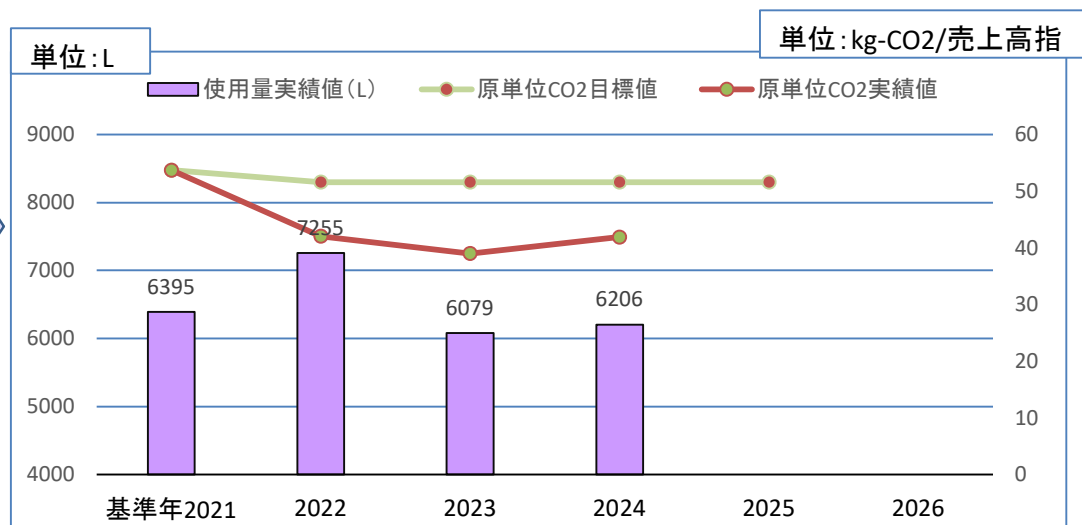
CO2  
排出量  
合計



電気  
使用量

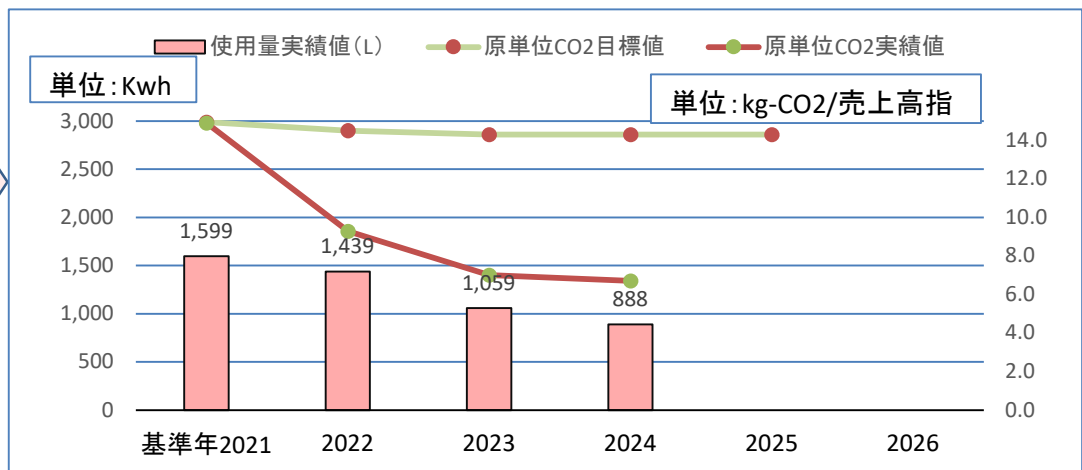


ガソリン  
使用量

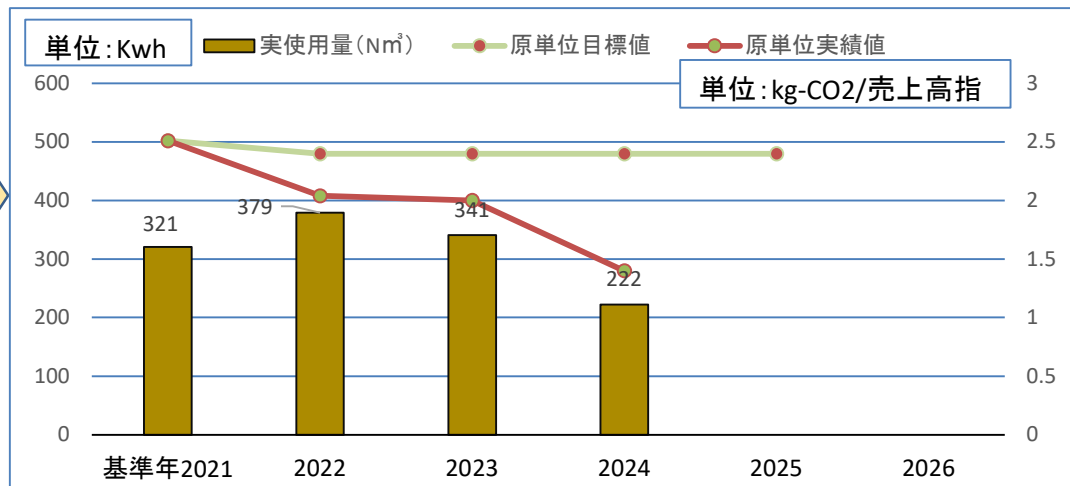


## 7.5 環境パフォーマンスの推移

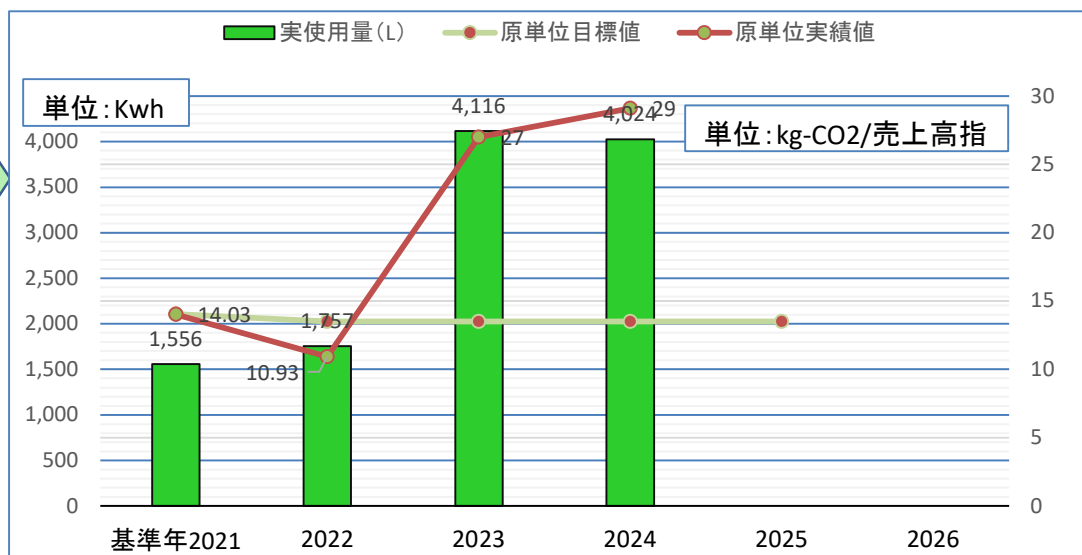
### 軽油 使用量



### 都市ガス 使用量



### 灯油 使用量



7.6 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無

■ 関連法規等の遵守状況

当社事業及び製品に関する主な環境関連法規等は下記の通りであり、今年度遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

遵守状況確認日 2025 年 3 月 10 日

| 主な法規名              | 要求事項                                     | 当社が遵守すべき事項                              | 遵守状況 |
|--------------------|------------------------------------------|-----------------------------------------|------|
| 廃棄物処理法             | 産業廃棄物の委託契約の締結<br>産廃処理状況確認<br>管理表交付状況報告義務 | 契約書の管理<br>管理表交付状況報告義務<br>マニフェストの管理      | ○    |
| 労働安全衛生法            | リスクアセスメントの義務化<br>有機溶媒中毒予防規則              | 使用する化学物質のリスクの企業側の把握<br>中毒性の危険把握・溶接ヒューム他 | ○    |
| フロン排出抑制法           | 第一種特定製品の「機器の点検」<br>「点検記録・記録の保存」          | 第一種特定製品の「機器の点検」<br>「点検記録・記録の保存」         | ○    |
| 神奈川県生活環境の保全等に関する条例 | 規制基準の順守義務                                | 騒音・振動の県の基準の厳守                           | ○    |

■ 外部からの違反、訴訟等の有無

当社は、関係当局からの違反の指摘、指導及び利害関係者からの訴訟等は、これまで過去3年間ありませんでした。

7.7 代表者による全体の評価と見直し指示

代表者は、今年度におけるエコアクション21運用全体について以下の通り、評価と見直しを行いました。

| 項 目      | 内 容                                                                                                                                                                                                                                    |       |       |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| 1.見直し実施日 | 2025 年 1月 31日(水)                                                                                                                                                                                                                       |       |       |
| 2.出席者    | 代表取締役、環境管理責任者、部門責任者                                                                                                                                                                                                                    |       |       |
| 3.報告した情報 | ①環境経営目標達成状況 ②環境経営計画の実施及び運用結果<br>③環境関連法規等の遵守状況 ④外部からの苦情、要望等                                                                                                                                                                             |       |       |
| 4.代表者の評価 | ・エネルギー資源の高騰により、電気代の高騰・材料資源の高騰が影響し会社の収益に影響を与えている。今後も継続して節約意識を高くもち、活動を持続していく。<br>【次年度に向けて】<br>・一般廃棄物の減少(図面のペーパーレス化)、製造作業の効率化を図る為に、図面管理、工程管理のDX化を推進していく(2024年にシステム導入2025年度中運用予定)<br>・灯油使用料においてはパーテンション設置を実施。他、暖房設備の効率化を進め、使用量を抑える努力を継続する。 |       |       |
| 5.見直しの結果 | 見直し項目                                                                                                                                                                                                                                  | 変更の有無 | 指示の内容 |
|          | ①環境方針                                                                                                                                                                                                                                  | 有 ・ 無 |       |
|          | ②環境目標                                                                                                                                                                                                                                  | 有 ・ 無 |       |
|          | ③環境活動計画                                                                                                                                                                                                                                | 有 ・ 無 |       |
|          | ④実施体制                                                                                                                                                                                                                                  | 有 ・ 無 |       |